

行政事業レビューシート サブシート

事業番号 当初 17 - 2

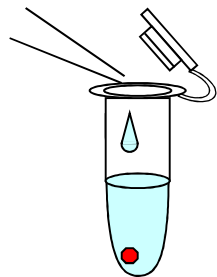
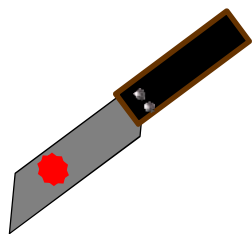
予算事業名	DNA型鑑定の実施		事業開始年度	-		作成責任者
担当部局	警察庁		担当課室	犯罪鑑識官		犯罪鑑識官 相浦 勇二
会計区分	一般会計		上位事業	犯罪鑑識		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号		関係する計画、通知等	-		
事業概要 (5行程度以内)	DNA型鑑定は、極めて高い精度の個人識別を可能とするものであり、犯罪捜査における有用性の浸透とともに、近年、その実施件数が急激に増加している。捜査を取り巻く環境の悪化、裁判員制度の導入等により、従来にも増して客観的証拠の収集が必要とされる中で、DNA型鑑定はその中心的役割を担っており、今後も鑑定需要の一層の増加が見込まれる。このため、増加するDNA型鑑定に対応して鑑定結果を犯罪捜査に迅速・的確に反映させるとともに、DNA型鑑定の信頼性や精度を確保するため、必要な鑑定資機材等を整備するものである。					
実施状況	都道府県警察にDNA型鑑定資機材を更新整備したほか、犯罪鑑識官における被疑者DNA型鑑定に必要な鑑定資機材を整備した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	428	540	372	0	0
	執行額	423	540	299	/	/
	執行率	99%	100%	80%	/	/
	総事業費(執行ベース)	423	540	299	/	/
自己点検 (用途の把握水準や見直しの余地等)	DNA型鑑定の実施件数は急増しており、資機材の整備は不可欠である。 DNA型鑑定資機材は、警察庁において一括調達しているため、支出先については把握している。 契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。					
資金の流れ / 費目・用途	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">警察庁 299百万円</div> <div style="margin: 5px 0;">(警察庁・都道府県警察にDNA型鑑定資機材を整備。)</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="margin: 5px 0;">< 物品購入等 > 【一般競争入札】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">A. 民間会社(3者) 299百万円</div> <div style="margin: 5px 0;">(警察庁・都道府県警察へDNA型鑑定資機材を納入。)</div>			A. 伊藤忠テクノソリューションズ(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)			
	物品購入費	DNA型鑑定支援装置	122			
計			122			

Aブロック以外の
 支出先等
 (1枚目に収ま
 らない場合)

【A. 上位10者の支出先】					
支出先	内容	金額 (百万円)	支出先	内容	金額 (百万円)
伊藤忠テクノソリューションズ(株)	DNA型鑑定支援装置ほか	122			
(株)池田理化	フラグメントアナライザーほか	105			
理化研(株)	DNA定量装置ほか	72			
B.			【B. 上位10者の支出先】		
費目	使途	金額 (百万円)	支出先	内容	金額 (百万円)
計		0			
C.			【C. 上位10者の支出先】		
費目	使途	金額 (百万円)	支出先	内容	金額 (百万円)
計		0			

DNA型鑑定

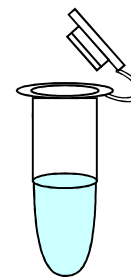
資料採取



DNA抽出



DNAのみを抽出



(DNA溶液)

(DNA抽出装置)

DNA増幅



(PCR装置)

DNAを
数百万倍に
増幅



DNA定量



(リアルタイムPCR装置)

増幅に必要な
量を算出

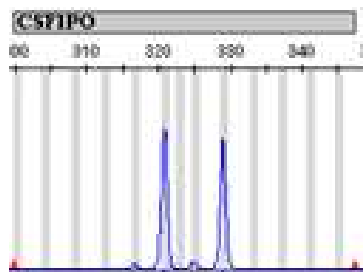


電気泳動



(フラグメントアナライザー)

データ解析



分析結果

D8S1179型 13 型
D21S11型 30 型
:
16座位について
結果が得られる

DNA型データベース

(被疑者資料・遺留資料のみ)

登録・照会

